

報道各位

2020年6月2日

公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

ジャム・セッション 石橋財団コレクション × 鴻池朋子

鴻池朋子 ちゅうがえり

2020年6月23日[火]—10月25日[日]

公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館(館長 石橋 寛)は、石橋財団コレクションと現代美術家の共演「ジャム・セッション」展を毎年一回の予定で開催することとなりました。これは美術館にとっての新たな冒険であり挑戦です。

このシリーズ第一回に、鴻池朋子(このいけ ともこ)を迎えます。鴻池は、絵画、彫刻といった従来の美術手法から拡張して、旅という時間と移動、歌や語りという音声言語、玩具や手芸などという身近な生活の行為や手立てをメディアとして、狩猟採集という人間の文化の「原型」というものを再考し、芸術の根源的な問い直しを続けてきました。

鴻池は、今回展覧会を開催するにあたり、それまでの美術館を構成してきた様々な要素と「対話」によるセッションを重ねました。株式会社ブリヂストンの九州のタイヤ工場や東京の技術センターへのリサーチ旅行、当館館長や関係者へのインタビュー、収蔵品についての学芸員からのレクチャーなど、鴻池は、近代が作りだした美術館という枠組みを、丁寧に深く探ることにより、新たな美術館の可能性を形にしようと試みます。

今回、そのようなプロセスを経て、展示室全体に行き渡る、円形の大襖絵を中心としたインスタレーションが立ち現れます。

本展覧会では、五感を通じて全身で作品と出会い、観客の視点を軽やかに「ちゅうがえり」させます。

「人間は一匹の動物として一人一人全部違う感覚で世界をとらえ、各々の環世界を通して世界を眺めている。それらは一つとして同じものがない。同じ言葉もない。同じ光もない。芸術がそのことに腹をくくって誠実に取り組めば、小さな一匹にとって世界は官能に満ち、やがて新たな生態系が動きだす。イリュージョンを言語にすり替えず、日々出会うものたちをしっかりと手探りし、遊び、粛々と自分の仕事をしていこう。」(鴻池)



①《皮トンビ》瀬戸内国際芸術祭 2019 展示風景

石橋財団コレクションとは

石橋財団コレクションは、創設者・石橋正二郎の個人収集から始まり、その後、公益財団法人石橋財団によって引き継がれました。現在約 2,800 点を数えるコレクションは、西洋絵画、日本近代洋画をはじめとして、西洋・東洋の彫刻や陶磁器、中国・日本書画にまで渡り、さらに 20 世紀美術、現代美術にまで視野を広げています。

ジャム・セッションとは

「ジャム・セッション」は、2020 年 1 月に開館するアーティゾン美術館のコンセプト「創造の体感」を体現する展覧会です。アーティストと学芸員が共同して、石橋財団コレクションの特定の作品からインスパイアされた新作や、コレクションとアーティストの作品のセッションによって生み出される新たな視点による展覧会を構成します。過去から現代、次代へ向けての架け橋となるプロジェクトを目指します。今後、毎年一回開催する予定です。

本展の構成・特徴・見どころ

(1) 本展覧会のための新作インスタレーション

新作の円形の大襖絵を中心に、それを囲むようにユニークなスロープがつけられます。周辺には森羅万象を紙で象った影絵燈籠や、作家の声によるオオカミや風や雪女などの人間以外の生き物の音が響きます。視点を移動させることで、新しい鑑賞を生みだします。2009 年の東京オペラシティアートギャラリーでの「インタートラベラー 神話と遊ぶ人」から 11 年ぶりの東京での大規模個展となります。

(2) 石橋財団コレクションとアーティストのセッション

瀬戸内国際芸術祭 2019 で発表された幅 12m 高さ 4m の《皮トンビ》は、約一年間、山に設置されたのちに本展に持ち込まれ、経年変化した姿を見せてくれます。その側には、当館収蔵品であるクールベの《雪の中を駆ける鹿》や、シスレーの《森へ行く女たち》などが対話をするように設置され、野生の気配が室内に立ちこめます。

(3) 生まれたての目で見る「みる誕生」

各展示室の間には、熊や狼の毛皮、木、ビニール、陶物、毛糸などの素材がぶら下がる、森の小径がつけられます。それらをくぐり抜けながら、私たちの眠っていた感覚は揺さぶられ、生まれたての原初的な身体が目覚めます。視覚以外にも触覚、嗅覚、聴覚など、身体全体で体感することを、鴻池は「みる誕生」と名付け、未知なる鑑賞の驚きや豊かさを味わいます。



鴻池朋子 略歴

1960 年秋田生まれ。近年の個展、2015-2017 年「根源的暴力」神奈川県民ホール、群馬県立近代美術館、新潟県立万代島美術館（2016 年芸術選奨文部科学大臣賞受賞）、2018 年「Fur Story」リーズ美術大学（イギリス）、「ハンターギャザラー」秋田県立近代美術館 他。グループ展、2016 年「Temporal Turn」カンザス大学スペンサー美術館・カンザス大学自然史博物館（アメリカ）、「Nous」金沢 21 世紀美術館、2017 年「Japan-Spirits of Nature」ノルデスカアクヴァレル美術館（スウェーデン）、2019 年「瀬戸内国際芸術祭 2019」他。著書『どうぶつのことば』、絵本『焚書 World of Wonder』（共に羽鳥書店）他。

関連プログラム

■「みる誕生」鑑賞会

眠っていた細胞を呼び起こし、“生まれたての体”のように全感覚で初めて世界と出会う驚きを、鴻池は「みる誕生」と名付けました。今回は一対一のペアになって対話をし、それぞれの鑑賞の違いを楽しみながら会場を巡ります。他者の五感は私たちの思考を軽やかに「ちゅうがえり」させます。

ナビゲーター：鴻池朋子

日 時：未定

定 員：各回7人(目の見えない人・見えにくい人4人、目の見える人3人)

申込、先着順

参加費：無料(入場券が必要です)

※当面の間、開催未定です。最新情報はウェブサイトでお知らせします。

■土曜講座「アーティスト・トーク」と学芸員によるギャラリートークは、当面の間、開催未定です。最新情報はウェブサイトでお知らせします。

開催概要

展覧会名：ジャム・セッション 石橋財団コレクション × 鴻池朋子

鴻池朋子 ちゅうがえり

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

会場：アーティゾン美術館 6階展示室

会期：2020年6月23日[火]—10月25日[日]

開館時間 10:00—18:00(毎週金曜日は20:00まで/当面の間、中止)

*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日(8月10日、9月21日は開館)、8月11日、9月23日

入館料(税込)：日時指定予約制(6月3日[水]よりウェブ予約開始)

一般ウェブ予約チケット1,100円、当日チケット(窓口販売)1,500円、
学生無料(要ウェブ予約)*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、
美術館窓口でも当日チケットを販売します。

*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。

担当学芸員 賀川恭子、上田杏菜

同時開催

第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示帰国展

「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」(5階展示室)

石橋財団コレクション選(4階展示室)

特集コーナー展示 | 新収蔵作品特別展示：パウル・クレー

特集コーナー展示 | 印象派の女性画家たち



アーティゾン美術館 〒104-0031 東京都中央区京橋 1-7-2

Tel 03-5777-8600(ハローダイヤル)

<https://www.artizon.museum>

交通案内

JR 東京駅(八重洲中央口)、

東京メトロ銀座線・京橋駅(6番、7番出口)、

東京メトロ・銀座線 / 東西線 / 都営浅草線・

日本橋駅(B1出口)から徒歩5分

広報用図版

※1点のみ掲載の場合は p.1 掲載のメインビジュアル①をお使いください。

※掲載時には必ずクレジットをご記載ください。

※文字載せやトリミングはご遠慮ください。



②



③



④



⑤



⑥

図版クレジット

①《皮トンビ》瀬戸内国際芸術祭 2019 展示風景

②《皮綴帳》「根源的暴力」展示風景 2015年 神奈川県民ホールギャラリー

③《ツキノワ川を登る》映像 2018年 (参考図版)

④《Dream Hunting Grounds》「ハンターギャザラー」展示風景 2018年 秋田県立近代美術館

⑤《Dream Hunting Grounds》「ハンターギャザラー」展示風景 2018年 秋田県立近代美術館

⑥ギュスターヴ・クールベ《雪の中を駆ける鹿》1856-57年頃 石橋財団アーティゾン美術館蔵

本プレスリリースについてのお問合せ先

「アーティゾン美術館第2期展覧会」広報事務局(株式会社 OHANA 内)

担当: 高橋・細川・妹尾

TEL: 03-6869-7881 FAX: 03-6869-7801

E-mail: artizon-pr@ohanapr.co.jp

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 リそな九段ビル 5F

公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館についてのお問合せ先

アーティゾン美術館 広報課 松浦、小川、宮武

E-mail: publicity@artizon.jp

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-7-2



アーティゾン美術館は日時指定予約制です

当館ウェブサイトよりご来館前に「ウェブ予約チケット」をご購入いただけます。

入館料 (税込)

	一般	大学生・専門学校生 高校生	障がい者手帳をお持ちの方と 付き添いの方1名	中学生以下
ウェブ予約チケット	1,100 円	無料 要予約 ウェブ予約をされない場合は 「当日チケット」(一般)をご購入ください。		無料 予約不要
当日チケット(窓口販売)	1,500 円			

*ウェブ予約チケット：各入館時間枠の終了 10 分前まで販売

*当日チケット：ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ販売

日時指定予約制とは

入館までの待ち時間の緩和、より快適な鑑賞環境をご提供するために、1 日を以下の入館時間枠に区切り、その時間枠内にご入館頂きます。

① 10:00-11:30 ② 12:00-13:30 ③ 14:00-15:30 ④ 16:00-17:30

- 指定した時間枠内であれば、いつでもご入館頂けます。
- 入館後は閉館まで時間制限なくご鑑賞頂けます。入替制ではありません。
- 各時間枠の開始時刻直後は混雑が予想され、入館をお待ち頂く場合があります。開始時刻から多少遅れてのご来館をおすすめします。

ウェブ予約チケット購入方法

- 販売開始日 2020年6月3日 [水]
当館ウェブサイトの中の「チケット購入」画面からご希望のご来館日と入館時間枠をご指定ください。
- 当日でも各入館時間枠の終了 10 分前までご購入頂けます。
- 各種クレジットカードがご利用頂けます。

<https://www.artizon.museum>

「ウェブ予約チケット」の受け取りおよび入館方法

- ① チケットの購入が完了すると、ご指定のメールアドレスに URL を記載したメールが届きます。
- ② この URL にアクセスすると QR コードを取得できます。
- ③ QR コードをお持ちのスマートフォンに表示してご入館ください。
QR コードを紙に印刷してご入館頂く事も可能です。

当日チケットについて

ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でもチケットを販売します。

予約について

- * 大学生・専門学校生・高校生は無料ですが、入館時間枠の予約が必要です。
入館時に学生証または生徒手帳をご提示ください。
- * 中学生以下の方は無料です。なお、入館時間枠の予約は必要ありません。
- * 障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方 1 名は無料ですが、入館時間枠の予約が必要です。
入館時に障がい者手帳をご提示ください。

グループでのご来館について

- * 中学生以下の方が 10 名以上で来館される場合は、事前に下記までご連絡ください。
ご連絡のない場合、展示室の混雑状況によってはご入館頂けない場合があります。
E-mail: groupdesk@artizon.jp

注意事項

- * 予約確定後はキャンセルすることはできません。
- * 日時指定の変更は1回に限り可能です。
- * 団体割引、シニア割引はございません。
- * 指定日時以外の入館はできません。
- * 営利目的でのチケット転売はお断りします。

アーティゾン美術館 展覧会（2020/6/23-10/25） 参考資料

1. 館長ごあいさつ 2. 展覧会担当学芸員によるステイトメント

2020年6月23日
公益財団法人石橋財団
アーティゾン美術館

1. ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に、謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

アーティゾン美術館は、展覧会の開幕を延期し休館しておりましたが、6月23日（火）より再開いたします。開館2期目となるこのたびの展覧会は、当館のコンセプト「創造の体感」を、3つのフロアそれぞれに異なるアプローチで具現化し、美術の多彩な魅力をご紹介します試みです。

6階展示室では、石橋財団コレクションとアーティストの共演「ジャム・セッション」の記念すべき初回として、鴻池朋子を迎えました。芸術の根源的な問い直しを続ける鴻池は、本展の開催にあたり「対話」を重ねて主題を深く掘り下げ、近代がつくりだした美術館の枠組みそのものを探りました。円形の大襖絵を配したインスタレーションを中心とするさまざまな仕掛けを通して、鑑賞者の五感に揺さぶりをかけ、新しい美術館の可能性を提示しています。

5階展示室では、ブリチストン美術館及び石橋財団創設者である石橋正二郎とゆかりの深いヴェネチア・ビエンナーレの日本館にて、国際美術展の一環として昨年開催された展覧会「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」の帰国展を開催します。服部浩之がキュレーションを務め、下道基行（美術家）、安野太郎（作曲家）、石倉敏明（人類学者）、能作文徳（建築家）の4名による映像、音楽、資料などで構成されるインスタレーションは、地球と人の「共存」「共生」をテーマとし、同時代を再考するきっかけを与えてくれます。

4階展示室「石橋財団コレクション選」では、所蔵作品の粋をご覧頂けると共に、特集コーナー展示にて「パウル・クレー」「印象派の女性画家たち」をご紹介します。建て替えのための約5年にわたる長期休館中も、収集活動を続けていました。このたび初公開となる新収蔵作品を核とする2つの特集展示が、時代を切り拓いた芸術家の創造に新たな光を当て、その考察と理解を深める機会となれば幸いです。

最後になりましたが、企画の実現にあたりご尽力を賜りました関係者の皆様に、お礼を申し上げます。

公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館
館長石橋 寛

2. 展覧会担当学芸員によるステイトメント

【6 階展示室】

ジャム・セッション 石橋財団コレクション×鴻池朋子

鴻池朋子 ちゅうがえり

アーティゾン美術館は、石橋財団コレクションと現代美術家の共演「ジャム・セッション」展を毎年一回の予定で開催することとなりました。その第一回目に鴻池朋子を迎えたのは、アーティゾン美術館の展示室を「ざわつかせる」ことで、これまでにない美術館の姿を見せてくれることを期待したためです。展覧会を開催するにあたり、鴻池は、美術館を構成してきた要素との「対話」によるセッションを重ねました。鴻池のていねいなアプローチによって、アーティゾン美術館という場が、鴻池の生み出す空間に取り込まれていきます。鴻池は、軽やかに「ちゅうがえり」するように新たな視点を提示し、そのなかで、鴻池の作品と19世紀フランス絵画との新たな関係性も生み出されます。

賀川恭子 学芸員

【5 階展示室】

第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示帰国展

Cosmo-Eggs | 宇宙の卵

昨年ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館にておこなわれた「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」。この展覧会を日本でも紹介すべく、アーティゾン美術館と国際交流基金との共催で、帰国展を開催することとしました。現代美術の祭典を当館で紹介することに意外性を感じるかもしれませんが、1950、60年代、当館の前身となるブリヂストン美術館では、積極的に国内外の現代美術を扱う展覧会を行っていました。ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展との関わりも古く、1956年自国のパビリオン日本館の建築完成には、ブリヂストン美術館の創設者である石橋正二郎が深く関与しています。帰国展とは何か、キュレーターとアーティストの間でその位置づけを検討することから始まり、再構成したこの展覧会では、ヴェネチアの再現展示に留まらないプロジェクトとしての「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」を感得してもらう内容となっています。

平間理香 学芸担当課長

【4階展示室】

石橋財団コレクション選

特集コーナー展示 | 新収蔵作品特別展示：パウル・クレー

2019年、石橋財団アーティゾン美術館は、20世紀前半を代表するスイス生まれの画家、パウル・クレーの計24点の作品を収蔵しました。当館では、1958年に国内で初めてとされるクレー展を開催しているほか、《島》(1932年)をはじめとする3点のクレー作品を収蔵し、コレクションの重要な要素と位置づけてきました。今回の新収蔵をもって、当館のクレー・コレクションは計27点となり、その画業の重要な局面を跡づけることが可能になったとともに、カンディンスキーやグロスの作品とあわせて、戦間期のドイツ美術の様相をうかがうことができるようになった点に、きわめて大きな意義を見出しています。本展示は計25点の展観により、このコレクションを初めてご紹介するものです。

島本英明 学芸員

特集コーナー展示 | 印象派の女性画家たち

アーティゾン美術館は、その前身であるブリチストン美術館の1952年(昭和27)の開館より、印象派の絵画をコレクションの中心のひとつに据えて参りましたが、このたび開館に向けてこの分野をより充実させるべく、印象派を代表する4人の女性画家たち、ベルト・モリゾ、メアリー・カサット、マリー・ブラックモン、エヴァ・ゴンザレスによる5点の作品をコレクションに迎えることが出来ました。このたびは、これら新収蔵作品を一挙公開すると共に、館蔵の印象派の画家たちによる関連作品、さらには同様に新しく収集された西洋の芸術家の肖像のヴィンテージ写真コレクションから、これら画家たちがかわりのあった芸術家の肖像写真や、画家たちの活躍を伝える文献資料もあわせて展示いたします。

新畑泰秀 学芸課長

■ 本件についてのお問い合わせ先

アーティゾン美術館広報事務局(株式会社OHANA 内) 担当:高橋・細川・妹尾
Tel: 03-6869-7881 Fax: 03-6869-7801 E-mail: artizon-pr@ohanapr.co.jp
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6 りそな九段ビル5F

■ 公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館についてのお問い合わせ先

アーティゾン美術館 広報課 松浦、小川、宮武 E-mail: publicity@artizon.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋1-7-2 Tel: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)